



# 学会長からのメッセージ

日本人間工学会

会長 齊藤 進

Wojciech Jastrzębowski

RYS  
ERGONOMJI

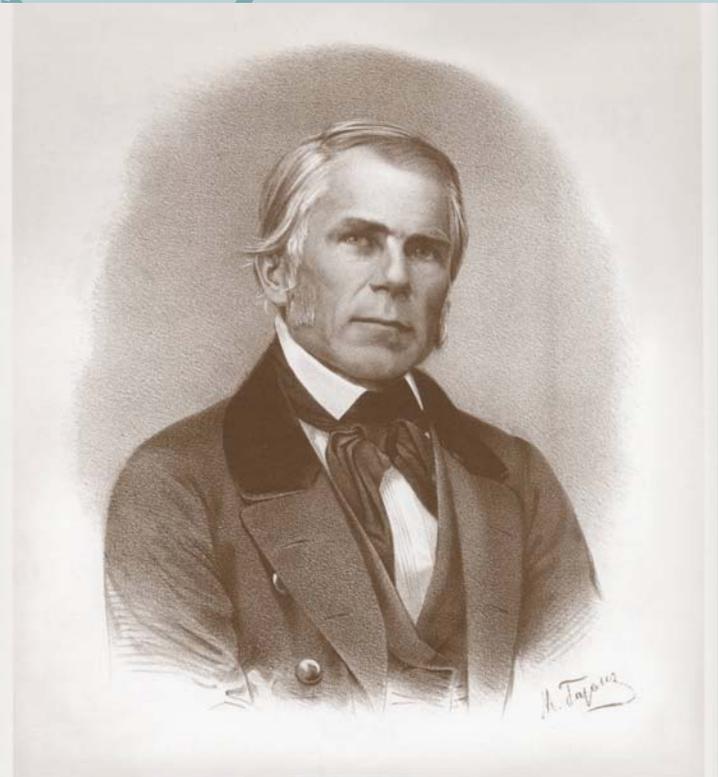
czyli  
NAUKI O PRACY

opartej na prawdach poczerpniętych  
z Nauki Przyrody

AN OUTLINE OF  
ERGONOMICS,

Or  
THE SCIENCE OF WORK  
based upon the truths drawn  
from the Science of Nature

1857



*Wojciech Jastrzębowski*

Wojciech Jastrzębowski's portrait  
taken from Maxymilian Fajans's „Polish Portraits”  
published by the author in Warsaw in 1851

Portret Wojciecha Jastrzębowskiego  
zacierpnięty z posytu „Wizerunki polskie” Maxymiliana Fajansa  
wydanego nakładem autora w Warszawie w roku 1851

Wojciech Jastrzebowski

ポーランド北部で生まれ、ワルシャワ  
大学で学ぶ(1799–1882年)



# IEA Overview

Prof. David Caple, IEA President  
12<sup>th</sup> January 2007, Tokyo

- **Federation of 42 Countries**
- **Around 18,000 members**
- **Formed 50 years ago**
- **Theme “Fit the Task to the Worker”**
- **Active NGO with WHO Activity Areas in 2006-2010 Strategic Plan**
- **Administered by international team of volunteers from Federated Societies**

# 第3期科学技術基本計画 (平成18～22年度)

## ○基本姿勢

- ①社会・国民に支持され、成果を還元する科学技術
- ②人材育成と競争的環境の重視

## ○科学技術の政策目標の明確化

- ①飛躍知の発見・発明
- ②科学技術の限界突破
- ③環境と経済の両立
- ④イノベーター日本
- ⑤生涯はつらつ生活
- ⑥安全が誇りとなる国



# 日本人間工学会第17期の活動目標

(2007年4月～2010年3月)

## 社会へ向けた人間工学の展開

- (1)人間工学を社会常識とすることにより、安全で安心できる社会を実現
- (2)社会ニーズ及び学術ニーズに沿った存在感のある学会を指向
- (3)人間工学により問題解決が可能となるサクセスストーリーを展開

## 学会としての具体的活動

- (1)人間工学実践家及び若手会員を積極的に活用し、学会活性化に有用な次世代人材を育成
- (2)ホームページ等を積極活用し、学会活動をオープンにするとともに、社会へ向けて情報を発信
- (3)研究部会等の成果を公開し、各分野の研究活動を社会的に活用
- (4)委員会等を常設委員会と臨時委員会に分離し、成果を組織的に活用



# 委員会活動等

## 常設委員会（長期的及び継続的に事業を実施）

認定人間工学専門家部会

専門資格制度の運営及び人間工学の実践と普及

## 臨時委員会（特定の目標と期間を定め、成果を学会として組織的に活用）

将来計画委員会

次世代JESの在るべき組織・事業等に関する提案

人間工学技術戦略委員会

ロードマップのローリング及びARM研究部会と連携

支部・部会・大会担当

支部と研究部会見直し、及び大会の効率的運営

法人化担当

文部科学省対応

広報、編集、国際協力、ISO/TC159国内対策、表彰、日本学術会議、総務、財務は、継続して活発な事業を実施